

学術フォーラム開催のご案内

アジア・太平洋地域におけるトランスナショナリズムの展開

社会科学からの展望

(開催趣旨)

アジア・太平洋地域における国境を越えた人・モノ・情報などの動きや、それを支える新しい考え方、生き方を多面的から考える。特に、現在、日本における若者の「内向き志向」ということがよく言われるが、経済活動、留学、看護・介護の国際化などの場における実態を踏まえたうえで、社会科学の立場から問題を展望する。

- 1 日時 平成23年6月18日(土) 13時30分～17時30分
- 2 主催 日本学術会議
- 3 会場 日本学術会議講堂 会場リンク (<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>)
- 4 お申込み 定員300人・参加費無料 日本学術会議ウェブサイト申込フォーム
(<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>) または、FAXにてお申し込み下さい。
(定員に達し次第締切りとさせていただきます。)

(プログラム)

- 13:30-13:35 開会のあいさつ
専修大学教授 日本学術会議副会長 広渡 清吾
- 13:35-13:50 趣旨説明:「日本のガラパゴス化をどう捉えるか」
東京大学教授・日本学術会議連携会員 末廣 昭
東京大学教授 園田 茂人
- 13:50-14:35 報告1:「途上国化する日本を国際化が救う」
東京大学教授 戸堂 康之
- 14:35-15:20 報告2:「日本の30万人留学生計画の現状」
明治大学教授 横田 雅弘
- 15:20-15:30 休憩
- 15:30-16:15 報告3:「EPA インドネシア人看護師の日本体験:マイクロ・マクロ連携モデルの視角から」
桜美林大学准教授 浅井 亜紀子
お茶の水女子大学名誉教授 箕浦 康子
兵庫県立大学教授 宮本 節子
- 16:15-16:45 報告4:「アジアの学術交流の現状:事例報告」
名古屋大学教授・日本学術会議連携会員 西原 和久
- 15:45-17:15 全体討論
- 17:15-17:25 討論のまとめ
法政大学教授・日本学術会議会員 山本 眞鳥
- 17:25-17:30 閉会のあいさつ
東京都立大学名誉教授・日本学術会議会員 小谷 汪之

<お申込み・お問い合わせ先> 日本学術会議事務局企画課公開講演会担当 〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34
TEL:03-3403-6295/FAX:03-3403-1260